



大分県（株）中津木材相互市場

『県境を越えた連携で、丸太の輸出を拡大』

【主な品目】

丸太（スギ・ヒノキ）

【主な輸出先国・地域】

中国

【輸出取組の概要】

- ◆ 福岡県、大分県と連携し協議会を結成、国産材丸太の集荷・輸出を拡大
- ◆ 流通面でメリットのある地元の中津港から輸出
- ◆ 輸出先のニーズの把握により、顧客からの信頼を獲得

【輸出実績】（平成29年度より輸出開始）

	輸出量(m ³)	出荷時期
令和5年度	8,560	通年
令和4年度	10,329	
令和3年度	4,536	



集荷場からの搬出作業

【取り組む際に生じた課題及び輸出後に抱えた課題】

- 1 大分県北東部の森林組合は小規模であり、単体では一隻分のまとまった量の確保が困難。
- 2 遠方の港を利用していたが、輸送費が高く輸出が困難。
- 3 輸出先のニーズの把握が必要。



木材ストックヤード

【生じた課題への対応】

- 1 大分県北東部の4森林組合と協力し、量を確保。さらに隣県の森林組合等と協力し、より広域な「福岡京築・大分北部地域連携木材輸出拡大協議会」を結成。県境を越えた連携による輸出拡大の体制を構築。
- 2 国産材輸出業者と協定を締結し、中津港から輸出。
- 3 輸出先の製材業者や建築業者等との対面による会合を設け、ニーズを把握。

【対応の結果】

- 1 集荷力の拡大、輸出先国への継続的な出荷を実現。
- 2 輸送コストの削減。
- 3 輸出先のニーズに合った商品の提供による現地顧客からの信頼獲得。



【今後の課題・展望】

- 1 輸出拡大を図るためには、中津港の港湾拡張整備が必要。
- 2 相手からの良質な木材の要望に確実、安定的に応えていく。
- 3 東南アジア地域への販路拡大を検討。



丸太の積み込み作業

【活用した支援・施策】 -

【ウェブサイト】 <https://nakatsu-sougo.co.jp/>

【連絡先】 担当者名：(株)中津木材相互市場 代表取締役 若松、TEL：0979-22-0145